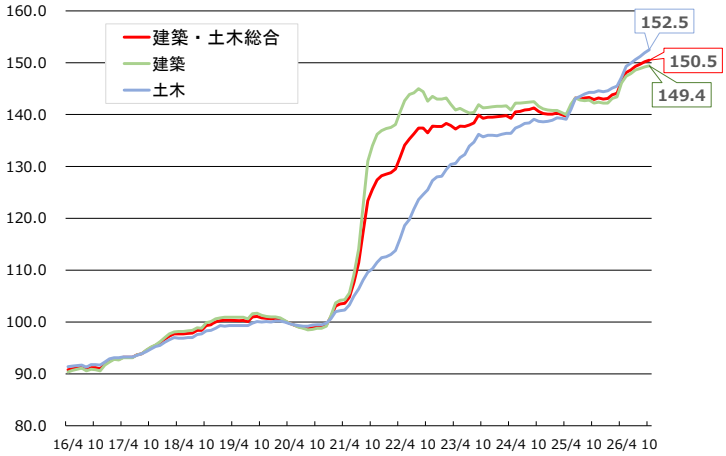
積算資料　建設資材価格指数

一般財団法人 経済調査会 経済調査研究所

建設資材価格指数は、建設工事で使用される資材についてその価格変動を総合的に捉えることを目的とした指数です。年々変化する建設工事の内容に対応した総体的な価格変動を表す総合資材価格指数として、価格変動に係わる資料や効率的な資材確保の資料等としてご利用下さい。

指数の推移（2026年10月調査）

全国・2020年度平均＝100



	当月指数	前月比	前年同月比
建築・土木総合	150.5	+0.3	+7.6
建築	149.4	+0.2	+7.2
土木	152.5	+0.6	+8.2

指数の詳細な計算結果はこちら
https://www.zai-keicho.or.jp/service/build/price/

部門別 主な指数の動き（主要10都市）

	前月比 プラス	前月比 マイナス
建築・土木総合	●生コンクリート：+12.7仙台 ●コンクリート二次製品：+3.7広島、+2.6東京、+1.3新潟、+0.1名古屋 ●普通鋼鋼材：+1.0高松、福岡、+0.9広島、+0.8大阪、+0.5仙台、新潟、+0.4那覇、+0.3札幌、+0.1名古屋	●普通鋼鋼材：-0.1東京
建築	●生コンクリート：+12.1仙台 ●コンクリート二次製品：+4.2広島、+1.7新潟 ●普通鋼鋼材：+1.3広島、+1.1高松、+1.0大阪、福岡、+0.7仙台、+0.4那覇、+0.3札幌、新潟、名古屋	●普通鋼鋼材：-0.1東京
土木	●生コンクリート：+13.5仙台 ●コンクリート二次製品：+8.9東京、+2.8広島、+0.9新潟、+0.2名古屋 ●普通鋼鋼材：+0.9高松、福岡、+0.8新潟、+0.4札幌、広島、+0.3仙台、大阪、那覇、+0.1東京	●普通鋼鋼材：-0.3名古屋

指数集計対象資材の市況

10月調査に基づく建設資材価格指数は、建築・土木総合で前月比0.3ポイント上昇の150.5となり、9カ月連続で最高値を更新した。建築指数は同0.2ポイント上昇、土木指数は同0.6ポイント上昇となり、全指数で最高値を更新。特に土木指数の伸びは顕著で、今年度入りした4月からの上昇率はプラス3.6%と全指数の中で最も高い。この要因として、生コンクリートが各地区の協同組合による共同販売事業を軸とした市況対策により、全国的に上昇基調にあることが挙げられる。10月も仙台の生コンクリート価格がm3当たり1,500円上伸した。先行きも、販売側の市況対策が続くとみられ、指数は高水準で推移する見通し。

指数に関するお問い合わせ先

一般財団法人 経済調査会 経済調査研究所 研究成果普及部　TEL.03-5777-8212

©2026 一般財団法人 経済調査会